

平成26年度

優れた教育活動表彰

1 学校（9校）

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
浜田市立岡見小学校	渡 邊 淳	<p>平成24～25年度体力向上推進モデル校として「学び合いの中で、自ら運動や心身の健康づくりに取り組む児童の育成～「わかる・できる・かかわり合う」学習を通して～」を研究テーマに取り組んだ。</p> <p>特にボール運動領域の研究は、1～6年生までの学習内容を系統的に見直すとともに、課題解決型学習の取組は、他校の実践に大きな示唆を与えるものである。</p>
出雲市立神戸川小学校	野 田 清	<p>平成24～25年度体力向上推進モデル校として「ともに学び合いのびようとする子どもの育成～体育科を中心に「わかる・できる・かかわる」授業づくりを通して～」を研究テーマに取り組んだ。</p> <p>「いつでも どこでも 誰でもできる70点の体育授業」を合言葉に取り組んだ授業研究は、体育を専門としない教員の体育授業をサポートする視点として他校の実践に大きな示唆を与えるものである。</p>
益田市立美濃小学校 (平成26年3月閉校)	—	<p>平成24～25年度体力向上推進モデル校として「主体的に体力・運動能力向上に取り組む児童の育成～かかわり合い、高め合う仲間づくりを通して～」を研究テーマに取り組んだ。</p> <p>全校児童14名の小規模校の研究実践であり、学年差が大きいことを考慮しながら、全校での授業展開に挑戦をした成果と課題は、小規模校の多い本県の体育授業の実践に大きなヒントとなるものである。</p>
大田市立朝波小学校	渡 部 道 孝	<p>平成24～25年度体力向上推進モデル校として「みんなで進んで健康・体力づくりに取り組む子どもの育成」を研究テーマに取り組んだ。</p> <p>特に運動を習慣化・日常化させるために校庭への動線の中に運動用具を設置するなど、思わず運動したくなるような様々な工夫で児童の運動量を確保した取組は、子どもたちの体力向上に大きな成果を上げている。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
隠岐の島町立都万小学校	佐々木 隆	<p>平成24～25年度体力向上推進モデル校として「めあてに向かって進んで取り組み、自らの心と体を鍛える児童の育成」を研究テーマに取り組んだ。</p> <p>6年間継続して使える体力づくりカルテを作成し自らの体力を知り、めあてに向かって運動する子どもたちを増やした取組は、他校に大きな示唆を与え成果を上げた。</p>
松江市立湖東中学校	上 代 裕 一	<p>「自他を大切にし、互いに高めあう生徒の育成」を研究主題に人権意識の高揚を図る授業や地域住民等との交流活動などに取り組んだ。</p> <p>特に、研究を推進するため、全教職員が4つの部会に所属し、組織的な取組を展開した。取組を通して、生徒だけでなく保護者、地域住民等にも人権意識の高揚が図られるなどの大きな成果を上げている。</p> <p>なお、平成25年度には、文部科学省人権教育研究指定並びに島根県人権・同和教育研究指定の発表会において、その成果を発表した。</p>
吉賀町立六日市中学校	河 野 洋 司	<p>平成24～25年度文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を主体的に活用することで、保小中連携事業、保護者・地域との連携事業及び道徳の時間の充実に取り組み、生徒の「共感・思いやり・協力する態度」「集団や社会の一員としての自覚と責任」が向上するなどの成果を上げた。</p> <p>キャリア教育、ふるさと教育及び環境教育と関連付けた諸活動を道徳的実践の場と位置付けたこの取組は、他校の実践に大きな示唆を与えるものである。</p>
西ノ島町立西ノ島中学校	有 木 健 二	<p>平成19年度からふるさと教育活動の中心を「地元、西ノ島の人の生きざまに学ぶ」ことに置き、教員自身が地域に出かけて調査を行い、それを題材に生徒の演劇活動である「ふるさと演劇」を続けてきた。</p> <p>昨年まで、7回実施された「ふるさと演劇」は、学校と地域を結びつけ、生徒が演劇を通してふるさとへの愛着を深めるふるさと教育の目標を効果的に達成する取組であり、他校のふるさと教育の実践に大きな示唆を与えるものである。</p>

学 校 名	学校長氏名	表 彰 の 理 由
島根県立松江養護学校 乃木校舎	坂 根 千 歳	<p>地域住民や保護者を対象に営業を行う特色ある一般就労を目指した教育を展開している。</p> <p>「食堂サービス班」「服飾雑貨サービス班」「清掃サービス班」「流通サービス班」がそれぞれに店舗を持って学習しており、『本物の人・もの』を扱うことで責任感や充実感が向上するとともに、働く意欲やコミュニケーション能力が高まっており、開校から2年間の一般就労率は高い水準を保つなど、大きな成果を上げている。</p>

(注) 上記の掲載順は、小・中・特別支援学校、かつ建制順による。

2 個人（4名）

氏 名	所属・職	表 彰 の 理 由
井 上 さくら <small>いの うえ</small>	安来市立母里小学校 栄養教諭	<p>児童生徒の心身共に健全な育成を目指し、給食管理や食の指導に取り組んできた。勤務した職場での給食管理は地域に根付いた特色あるメニュー展開であるとともに、残菜がほとんどないものにするなどの工夫がなされている。</p> <p>また、ふるさとの伝統料理の学習にも力を入れ、食を通じた郷土愛を育む取組は、栄養教諭の後進の模範となっている。</p>
葛 城 隆 継 <small>かつら ぎ たか つぐ</small>	島根県立隠岐水産 高等学校教諭	<p>浜田水産高校在職中（H20～H23）に国の「地域産業の担い手育成プロジェクト」の指定を受け、地元水産資源を活用した新商品の開発を行い、生徒の指導のみならず、浜田市及び島根県の水産振興に貢献した。</p> <p>隠岐水産高校在職中（H25～）には、食品クラブの顧問として「ご当地！絶品うまいもん甲子園」全国大会で「闘牛ブリバーガー」を作り、準優勝を獲得するなど、地域の水産資源を活用した地域産業の担い手育成と水産振興に大きく貢献している。</p>
松 林 智 照 <small>まつ ばやし ち あき</small>	雲南市立大東中学校 事務リーダー	<p>平成22年から2年間、島根県公立小中学校事務職員研究会の副会長として、県の学校事務の改善や職員の資質能力向上に尽力した。また、地域の研究会組織のあり方について、時代の変革に対応した様々な取組を進め、事務職員の意識の向上と研究会の発展に寄与した。</p> <p>長年にわたる活動は、今後の学校運営に必要な学校事務の確立に大きく貢献している。</p>
馬 庭 志津子 <small>ま にわ しづこ</small>	出雲市立西野小学校 事務リーダー	<p>平成14年から2年間、島根県公立小中学校事務職員研究会の副会長として、県の学校事務の改善や職員の資質能力向上に尽力した。また、平成18年から平成24年までの間に6年間、出雲市立小中学校事務職員会の会長として、地域の学校事務研究の先導的な役割を担ってきた。</p> <p>長年にわたる活動は、今後の学校運営に必要な学校事務の確立に大きく貢献している。</p>

（注）上記の掲載順は、五十音順による。